



## 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年11月9日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 大運  
コード番号 9363 URL <http://www.daiunex.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理副本部長  
四半期報告書提出予定日 平成22年11月11日

(氏名) 高橋 健一  
(氏名) 吉野 弘一

TEL 06-6532-4101

配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第2四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	3,371	20.5	54	—	63	—	71	—
22年3月期第2四半期	2,799	△32.4	△187	—	△150	—	△91	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	1.15	—
22年3月期第2四半期	△1.57	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	4,671	1,692	36.2	27.21
22年3月期	4,563	1,675	36.7	26.94

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 1,692百万円 22年3月期 1,675百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,612	10.1	100	—	100	—	90	—	1.45

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「2. その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
② ①以外の変更 無

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期2Q	62,280,394株	22年3月期	62,280,394株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	92,669株	22年3月期	92,366株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期2Q	62,187,596株	22年3月期2Q	58,557,413株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
【第2四半期累計期間】	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間(平成22年4月1日～平成22年9月30日)における我が国経済は、緩やかな回復基調の中にあつたものの、急激な円高進行が輸出企業に大きな影響を与えつつあるなど、ペースが鈍化し、先行きの懸念が高まっている状況であります。

当社は前事業年度から採算性の低い貸借施設の返還、人件費の削減による収益改善を推進し、営業収入の回復とともに、前事業年度第3四半期会計期間以降は黒字体質に転換し、当第2四半期累計期間の営業収入は前年同四半期累計期間比+572,854千円(+20.5%)の3,371,995千円となりました。

人的資源を営業部門に傾注し、積極的な営業推進を展開しておりますが、厳しい環境の中で利益率は若干低下傾向にあります。また、特別損失として過年度事業税9,399千円、過年度事業所税6,953千円を計上し、法人税等還付税額として22,742千円を計上しました。

この結果、当第2四半期累計期間の営業利益は54,156千円、経常利益は63,202千円、四半期純利益は71,489千円となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### (流動資産)

流動資産は2,504,319千円となりました。前事業年度末比214,101千円(9.3%)増加しております。これは、現金及び預金の増加128,915千円、立替金の増加74,329千円等によるものです。

#### (固定資産)

固定資産は2,153,594千円となりました。前事業年度末比104,055千円(4.6%)減少しております。これは投資有価証券の減少42,580千円、車両運搬具(純額)の減少15,628千円、建物(純額)の減少14,607千円等によるものです。

#### (流動負債)

流動負債は1,853,606千円となりました。前事業年度末比64,687千円(3.4%)減少しております。これは未払金の減少59,078千円、営業未払金の減少39,632千円、預り金の増加37,024千円等によるものです。

#### (固定負債)

固定負債は1,125,144千円となりました。前事業年度末比155,202千円(16.0%)増加しております。これは、長期借入金の増加127,687千円、退職給付引当金の増加39,056千円等によるものです。

#### (純資産)

純資産は1,692,265千円となりました。前事業年度比17,047千円(1.0%)増加しております。これは繰越利益剰余金の増加71,489千円、その他有価証券評価差額金の減少54,429千円等によるものです。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想につきましては、業績は概ね計画通りに推移しており、平成22年5月13日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ①一般債権の貸倒見積残高の算定方法

当第2四半期会計期間末の貸倒実績率が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積額を算定しております。

#### ②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

#### ③法人税等の算定方法

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積り実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

### (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益はそれぞれ358千円、税引前四半期純利益は2,511千円減少しております。

また、当会計基準等の適用開始により差入保証金より控除された金額は2,511千円であります。

### (3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社は、前事業年度まで3期連続営業損失を計上しておりました。四半期会計期間での推移では、前事業年度第3四半期会計期間以降は営業利益に転換しており、当第2四半期会計期間においても営業利益を計上しております。当事業年度においても引き続き営業推進、経費削減に注力し、営業利益を計上できる見通しであり、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は解消され、存在しておりません。

### 3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,204,493	1,075,577
受取手形	5,212	2,741
営業未収入金	844,870	875,320
立替金	353,514	279,184
未収還付法人税等	7,976	—
その他	102,345	72,367
貸倒引当金	△14,093	△14,975
流動資産合計	2,504,319	2,290,217
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	244,976	259,584
構築物(純額)	3,251	3,434
機械及び装置(純額)	40,715	46,660
車両運搬具(純額)	90,532	106,161
工具、器具及び備品(純額)	16,089	13,638
土地	576,183	576,183
リース資産(純額)	36,507	39,206
有形固定資産合計	1,008,257	1,044,868
無形固定資産		
のれん	460,862	474,827
その他	28,747	33,565
無形固定資産合計	489,609	508,393
投資その他の資産		
投資有価証券	503,157	545,738
差入保証金	93,390	88,693
その他	381,996	391,321
貸倒引当金	△322,818	△321,364
投資その他の資産合計	655,727	704,388
固定資産合計	2,153,594	2,257,650
繰延資産		
株式交付費	13,102	15,585
繰延資産合計	13,102	15,585
資産合計	4,671,016	4,563,453

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	72,086	73,471
営業未払金	554,105	593,737
短期借入金	509,000	489,000
1年内返済予定の長期借入金	432,439	445,781
未払金	111,089	170,167
未払法人税等	16,412	30,471
その他	158,473	115,664
流動負債合計	1,853,606	1,918,293
固定負債		
長期借入金	835,059	707,371
退職給付引当金	177,243	138,187
その他	112,841	124,383
固定負債合計	1,125,144	969,942
負債合計	2,978,750	2,888,235
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,394,398	2,394,398
資本剰余金		
資本準備金	314,304	314,304
その他資本剰余金	433,706	433,800
資本剰余金合計	748,010	748,104
利益剰余金		
利益準備金	5,856	5,856
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△1,237,519	△1,309,009
利益剰余金合計	△1,231,663	△1,303,153
自己株式	△10,478	△10,560
株主資本合計	1,900,267	1,828,789
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△208,001	△153,571
評価・換算差額等合計	△208,001	△153,571
純資産合計	1,692,265	1,675,217
負債純資産合計	4,671,016	4,563,453

(2) 四半期損益計算書

【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業収入	2,799,141	3,371,995
営業原価	2,751,092	3,123,407
営業総利益	48,048	248,588
販売費及び一般管理費	235,412	194,432
営業利益又は営業損失(△)	△187,363	54,156
営業外収益		
受取利息	491	286
受取配当金	8,951	8,757
受取保険料	—	6,952
受取補償金	38,628	—
その他	17,168	17,538
営業外収益合計	65,238	33,535
営業外費用		
支払利息	21,400	20,655
貸倒引当金繰入額	—	2,253
その他	6,503	1,579
営業外費用合計	27,904	24,488
経常利益又は経常損失(△)	△150,028	63,202
特別利益		
固定資産売却益	1,337	79
投資有価証券売却益	81,753	—
賞与引当金戻入額	19,138	8,678
その他	759	—
特別利益合計	102,989	8,757
特別損失		
固定資産除却損	—	326
投資有価証券売却損	1,401	—
投資有価証券評価損	37,327	—
貸倒引当金繰入額	3,131	—
過年度事業税	—	9,399
過年度事業所税	—	6,953
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	2,152
その他	66	909
特別損失合計	41,926	19,741
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△88,965	52,218
法人税、住民税及び事業税	2,843	3,471
法人税等還付税額	—	△22,742
法人税等合計	2,843	△19,271
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△91,808	71,489

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。